

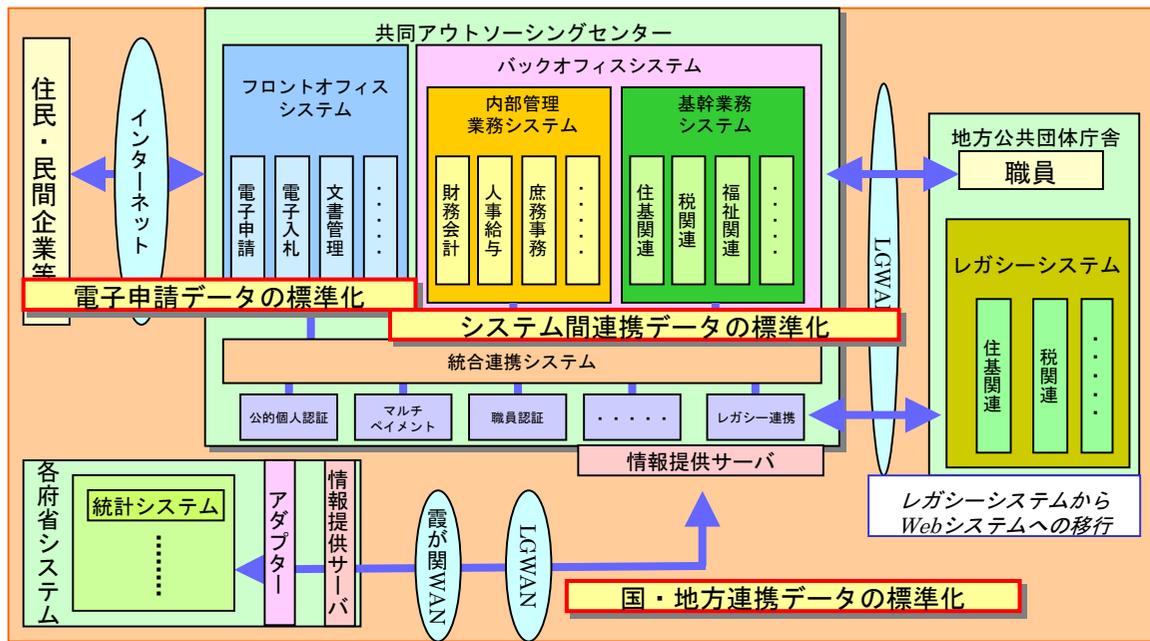
データ標準化WGの検討状況について

平成18年1月24日

総務省自治行政局自治政策課

データ標準化の取組み

- 国や地方公共団体のデータの扱い方がバラバラでは、極めて非効率でコスト高
- OSやプログラム言語に依存しないXML仕様によることが適切
- データの意味づけをするためのタグの標準化を推進する必要



データ標準化に取り組む分野

- 国と地方公共団体の行政専用ネットワークで交換されるデータ
- 地方公共団体内部の情報システム間で交換されるデータ
- 電子申請、電子入札などのフロントオフィス業務システムの取り扱うデータ

地方公共団体のシステム全般にわたり、
データの標準化を推進

【データベースのモデリング・XMLタグ設計ルール策定】

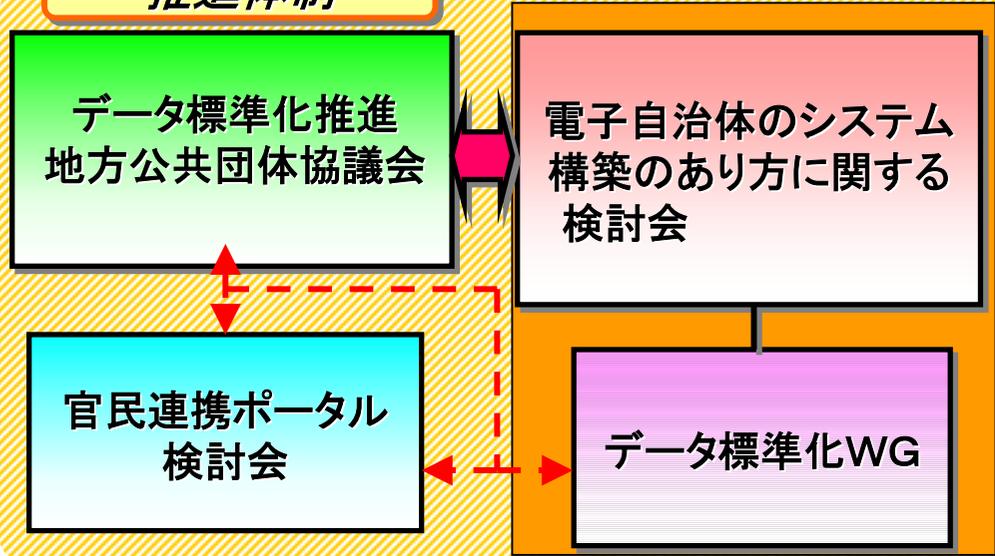
推進体制

データ標準化推進
地方公共団体協議会

電子自治体のシステム
構築のあり方に関する
検討会

官民連携ポータル
検討会

データ標準化WG



XML仕様の作業項目と時期

標準化作業項目		概要	時期	備考
XMLタグ設計ルール	要素・属性の命名規則	XML文書やタグ名等の名前の付け方に関する規則を規定する。	策定済み	国・地方連携事業、共同アウトソーシング事業で利用されている。
	名前空間の命名規則	名前空間名(URI)として、どのようなものを用いるかを規定する。	策定済み	国・地方連携事業、共同アウトソーシング事業で利用されている。
	文字コード・外字に関する規則	文字コードといわゆる“外字”の取り扱いについて規定する。	策定済み	国・地方連携事業、共同アウトソーシング事業で利用されている。
	スキーマ言語	どのスキーマ言語を選択するか、どの範囲の機能(サブセット)を使用するかについて規定する。主なスキーマ言語としてDTD, W3C XML Schema, ISO/IEC (JIS) RELAX NGの三つがある	策定済み	国・地方連携事業、共同アウトソーシング事業で利用されている。
	XMLプロファイル	XMLや名前空間のどの範囲の機能を使うかを規定する。XML文書において日本語を正しく取り扱うために従うべき規則を規定する。	策定済み	国・地方連携事業、共同アウトソーシング事業で利用されている。
	スキーマ言語プロファイル	XML文書の構造を定義するスキーマ言語の利用方法について従うべき規則を策定する。	2005年4月以降	2005年度から、まずはRELAX NGについて検討を開始する。
XMLタグとスキーマ	XMLタグとスキーマの共通化	具体的な業務について、XMLタグ名およびXML文書の文書構造(スキーマ)を標準化する。標準化に先立って、業務プロセスとやり取りする情報(各種帳票、コンピュータ画面など)を調査・分析する必要がある。スキーマの定義は、DTD, W3C XML Schema, ISO/IEC (JIS) RELAX NGの3種類の形式で作成する	2004年から順次	共同アウトソーシング事業、レガシー連携事業、国・地方連携事業の成果を取り込み、一部の業務について試行中
	コード表	地方公共団体コードなど、既に政府・自治体で利用しているコードを洗い出し、XMLから利用できる形に整理する。	2004年から順次策定	できるところから順次作成中。
	データ型ライブラリ	文字列によって表現されるデータとして、どのようなもの(単位、値のとりうる範囲等)があるかを規定する(例: 単位を百万円とする金額)。	2004年から順次策定	一部策定済み。順次拡張予定。
	共通部品スキーマ	多くのスキーマから使われる標準的な部品を策定する。人名や日付などを規定する小さな部品から、申請書などを規定する大きな部品までが考えられる。標準化に先立って、業務プロセスとやり取りする情報(各種帳票、コンピュータ画面など)を調査・分析する必要がある。	2004年から順次検討	一部策定済み。順次拡張予定。
XMLタグ・スキーマ等の標準XML文書の維持管理の枠組み		標準化したXML文書の維持・管理方法について、体制、仕組み、サービスについて原案を策定する	2005年3月	今年度は維持管理方法の枠組みの原案策定。2005年度において、ステークホルダ間の調整を行い、標準化XML文書の維持・管理の体制、仕組み、サービスの枠組みを構築する

XMLタグ設計ルール（概要）

項目	概 要	備 考
要素・属性	<p>○国外との整合性を必要としない場合 ひらがな・カタカナ・漢字を積極的に用いる。 <使用できる文字(例)> ・原則として日本語とする。・全角英数字は使用できない。・半角カナは使用できない。 ・中黒(・)、括弧は使用できない。</p> <p>○国外との整合性を必要とする場合 英数字とする。UBL(※1)など、いくつかの国際的な命名規約との整合性は確保。</p>	<p>※1 Universal Business Language</p> <p>※2 Uniform Resource Name</p> <p>※3 XMLタグ設計ルールには、左記のほかに、「スキーマ言語プロファイル(スキーマ言語をどの範囲で用いるべきかを規定したもの)」、「XMLプロファイル(XML文書が従うべき一般的な規則を定めたもの)」がある。</p>
名前空間	<p>○使用する文字 英数字のみを使用し、平仮名・片仮名・漢字は使用しない。</p> <p>○URNとURLの選択 URN(※2)を利用する。</p> <p>○URNの構文 URNスキーム名としては、go.jpを利用する。その次の名前としてxmlnsを指定し、XML名前空間であることを表す。最後に、年度と月を200411のように指定する。</p>	<p>※4 XMLタグとスキーマ(文書構造)の共通化、コード表(地方公共団体コードなど)、データ型ライブラリ(単位、値のとりうる範囲等)、共通部品スキーマ(多くのスキーマで使われる標準的な部品)などについても順次検討を行っている。</p>
文字コード・外字	<p>○XML文書の符号化 JIS X 0213:2004の範囲の文字だけを、UCS(UTF-8またはUTF-16)によって符号化する。</p> <p>○一般文章中の漢字の扱い JIS X 0213:2004に含まれる範囲の漢字だけを使用する。</p> <p>○人名及び地名用漢字の扱い 情報交換用の符号化文字としては、JIS X 0213:2004の範囲の漢字だけを使用することを原則とする。 ただし、JIS X0213:2004で包摂される字体や字形の区別が必要な場合は、XMLの要素を用いて情報を付加する。</p>	<p>4</p>